

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら春日部駅前教室

保護者等数(児童数) 15 回収数 11 割合 73 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1			小さい子とぶつかっていないか気になる。	事故やケガが無いように職員配置を気を付けて対応している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11				先生も増えて、安心して過ごせる。	児童の人数に応じて対応している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11				段差も少なく、ドアもスライドなのが安心する。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1			日当たりもよく、駅や電車が見えて過ごしやすい環境になっている。	毎日の掃除を欠かさずに対応している。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11				子どもにあった支援ができています。	保護者様との面談等で情報共有をしながら支援している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11				色々な子供と接する環境があつていいと思う。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11				成長過程にあつた支援が出来ている。達成したら次の支援をしてくれるので助かっている。	保護者様との面談等で情報共有をしながら支援している。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11				色々な活動があつて子どもも楽しめている。	月に色々な活動ができるように対応している。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2		5	色々な年齢の子供と接することでほかの人と会っても話すことができる。	保育園等や他事業所との関わりを増やせるように対応していく。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				契約時に説明を受けた。	契約時分かりやすく伝えられるように心掛けている。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10			1	面談時に計画書の説明してくれた。	面談時に分かりやすく伝えられるように心掛けている。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8		3		本人の苦手なことを自宅でサポートしやすくなっている。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				悩んでいる事等、相談しやすい。	定期的に面談を行っている。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			9	2	開催があれば参加してみたい。	今後要望を取りまとめて父母会等の実施を目指していく。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11				すぐに対応しただけしている。	継続して迅速に対応できるように心掛けていく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1			お便りや予定表が見やすい。子どもに伝えやすい。	お便り等でイベントの情報発信を行い、保護者様が見やすく分かりやすいように作成していく。
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	11				お便りなど顔を隠して安心して。	個人情報が入力してあるものなどは気を付けて保管、管理している。	
非常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	1			契約時に説明を受けたがあまり覚えていない。	保護者様も参加できる訓練、説明会の実施を検討していく。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11				定期的に避難訓練をやってくれている。	今後も避難訓練等を定期的にイベントとして取り組んでいく。
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	11				お友達や先生と会えるのを楽しみにしている。	これからも楽しく通っていただけるように支援していく。
	23 事業所の支援に満足しているか	11				家族にも余裕が生まれ助かりました。	保護者様が安心、満足していただけるように支援していく。

227 6 12 8 90%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら春日部駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	4	児童の人数に合わせて適切に配置するよう意識している。	職員全体がスペースを意識して活動していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	7	5	適切な職員配置を常に意識している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	4		できるだけ段差のない空間づくりをしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	2	毎日の掃除を欠かさずに行っている。	空間に合わせた区画分けの意識をして活動を行っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	5	全体での共有、周知を意識して行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	4	保護者様からの意見を取り入れながら支援を行っている。	複数回行えるよう取り組んでいく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	4	毎年の公開をおこなっている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	6	定期的に本部の方を招き助言をいただいている。	助言を受け、指導いただいた部分の対応を意識して行う。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	7	外部研修等に参加するよう取り組んでいる。	情報を取り入れ、多くの研修に参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	4	面談を定期的に行い、支援を行っている。	継続してニーズに合わせた支援を行う。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	2		適切なツールを取り入れて行えるようにしていく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	5		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	4	職員への共有を行い支援計画に合わせた支援を行えるよう心掛けている。	継続して行っていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	3	担当者が取りまとめてイベントの立案を行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	2	職員全体から意見を集めて色々な活動を行えるようにしている。	今後も継続して固定化をしないようにしていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	3	個別活動、集団活動を時間分けて行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	朝礼を毎日欠かさずに行っている。	時間を長くとれるようにスケジュール調整をしていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	7		短い時間になってしまっているため、時間の調整をできるよう意識していく
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	5	連絡帳に記入して記録を残している。	継続して行っていく。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	4	定期的に面談を行い支援計画を作成している。		
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	10		あまり参加ができていないので、スケジュール調整をして積極的に参加できるようにしていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	5		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	12	該当児童なし	該当児童なし
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	12	該当児童なし	該当児童なし
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	4	保育園等との連携をして情報共有を行っている。	継続して連携していく。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	6	特別支援学校等と情報共有を行っている。	継続して連携していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	9	参加できるものには参加して研修を受けている。	スケジュールを調整して多くの研修等に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	10		障害のない子どもとの交流があまりできていないので、地域の行事等に積極的に参加できるようにしていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	9		毎回参加できているわけではないので、多く参加できるようにスケジュール調整をしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	3	送迎時や面談時に状況等の情報共有を行っている。	継続して行っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	6		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	3	契約時に分かりやすく伝えられるように心掛けている。	継続して行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	5	面談時に説明しながら同意をいただいている。	継続して行っていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	2		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	0		保護者会等を行っていないので開催できるように日程を調整等を行っていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	5	ご連絡があった際にはすぐに対応できるように心掛けている。	継続して行っていく。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	3	お便り等で情報発信を行っている。	継続して行っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	2	個人情報が記入するものなどは気を付けて保管、管理している。	改めて管理を徹底する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	4		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	10		地域住民との関わりが少ないので、情報収集をして参加できるようにしていく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	6	契約時に説明をしている。	改めて保護者様も参加できる訓練、説明会の実施を検討していく。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	4	定期的に避難訓練をイベントとして取り組んでいる。	継続して行っていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	7	保護者様との面談時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	3		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	8	些細な事でも記入できるように心掛けている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	5	定期的に虐待防止研修を行っている。	継続して行っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	6	契約時に保護者様の同意を得て対応している。	継続して行っていく。